

(お知らせ)

平成 25 年度水生生物放射性物質モニタリング調査結果(7月調査)

<福島県政クラブ同時発表>

平成 25 年 12 月 10 日(火)
環境省水・大気環境局水環境課
直 通:03-5521-8316
代 表:03-3581-3351
課 長:宮崎 正信(内線 6610)
課長補佐:長澤 沙織(内線 6614)
担 当:佐藤 勝彦(内線 6628)

環境省では、モニタリング調整会議において決定された総合モニタリング計画に基づき、継続的に水環境(公共用水域(河川、湖沼・水源地、沿岸)等)の水質・底質について放射性物質モニタリングを実施しているところです。

今般、この一環として福島県内を中心に実施していた、水生生物放射性物質モニタリング(採取日:平成 25 年 7 月 9 日～平成 25 年 7 月 31 日)について、測定結果(速報)を取りまとめましたので、公表します。

なお、これまで実施した、公共用水域放射性物質モニタリングの結果については、以下の HP で掲載しております。

<http://www.env.go.jp/jishin/rmp.html#monitoring>

1. 調査概要

(1) 調査地点

区分	調査水域	調査地点等	実施日
河川	A	阿武隈川	原瀬川(支川)
	B		摺上川(支川)、大正橋
	C	宇多川	平成 25 年 7 月 14 日
	D	真野川	平成 25 年 7 月 13 日、16 日
	E	新田川	平成 25 年 7 月 18 日
	F	太田川	平成 25 年 7 月 15 日
湖沼	G	はやま湖(真野ダム)	平成 25 年 7 月 17 日
	H	秋元湖	平成 25 年 7 月 12 日
	I	猪苗代湖	北岸
	J		南岸
海域	K	阿武隈川河口沖	平成 25 年 7 月 18 日
	L	相馬市沖(松川浦)	平成 25 年 7 月 31 日
	M	いわき市沖(久之浜沖)	平成 25 年 7 月 30 日

(地図別添)

(2) 調査内容

調査地点において水生生物(水生昆虫、藻類、甲殻類、貝類、魚類等)等を採取し、種類ごと放射性物質濃度(放射性セシウム(Cs-134、Cs-137))を測定。

2. 放射性セシウム（Cs-134、Cs-137 合計）測定結果概要（詳細別添）

（1）河川、湖沼（下段は前年同時期調査結果）

水域によってばらつきがあり、採取された生物種も同一ではないが、全体の状況としては、おおむね、前年同時期調査と比較して放射性セシウム濃度の低下が見られる。また、これまでの調査結果と同様に、河川・湖沼では海域と比較して、高い放射性セシウム濃度を示している。

単位: Bq/kg-wet

			植物 (藻類等)	水生昆虫	甲殻類	貝類	魚 類	両生類	粗粒状有機物(枯葉等)
阿武隈川水系	阿武隈川 A	H24 6月～7月	740	52 (4 種)	181	170	50～167 (7 種)	290～420 (5 種)	—
		H25 7月	730	39、202 (2 種)	76	28	16～274 (7 種)	49～330 (3 種)	830
	阿武隈川 B	H24 6月～7月	550	—	—	—	76～650 (10 種)	280、370 (2 種)	—
		H25 7月	ND、450 (2 種)	15～198 (4 種)	62	120	14～46 (6 種)	49、550 (2 種)	165
宇多川 C		H24 6月～7月	—	—	—	—	—	—	—
		H25 7月	520	21～283 (3 種)	29～55 (3 種)	—	45～141 (3 種)	12、16 (2 種)	205
真野川水系	はやま湖 G (真野ダム)	H24 6月～7月	1,870	510 (7 種)	—	—	280～4,400 (4 種)	—	3,200
		H25 7月	10～3,400 (4 種)	89、340 (2 種)	—	—	225～2,650 (6 種)	—	560
	真野川 D	H24 6月～7月	260	198 (14 種)	223	182	202～970 (4 種)	—	1,410
		H25 7月	14～1,610 (3 種)	59～222 (3 種)	180、350 (2 種)	99	6～254 (7 種)	420、1,100 (2 種)	670
新田川 E		H24 6月～7月	—	—	—	—	440～11,400 (5 種)	—	—
		H25 7月	9.3、4,000 (2 種)	270、1,500 (2 種)	400、740 (2 種)	—	198～460 (7 種)	—	870
太田川 F		H24 6月～7月	—	—	—	—	—	—	—
		H25 7月	70～8,000 (4 種)	150～840 (3 種)	970、1,390 (2 種)	—	920～2,950 (6 種)	—	4,300
秋元湖 H		H24 6月～7月	46	—	183	—	88～470 (7 種)	540	250
		H25 7月	1.3、7.3 (2 種)	ND	77	60	16～264 (11 種)	24、55 (2 種)	250
猪苗代湖	猪苗代湖 I (北岸)	H24 6月～7月	500	—	—	—	77～380 (6 種)	—	—
		H25 7月	—	—	—	—	55～165 (6 種)	—	162
	猪苗代湖 J (南岸)	H24 6月～7月	9	—	—	—	46～430 (6 種)	—	—
		H25 7月	ND～2.9 (3 種)	—	29	7.3	ND～158 (9 種)	2.8、120 (2 種)	—

※測定に供する試料は、魚類を含め、個体丸ごととしている。

なお、平成 24 年度 9 月～11 月調査から水生昆虫は、以下の 4 種（食性、種類別）に分けて採取・分析している。

- ・トンボ目（肉食、トンボの幼生でヤゴと呼称される）
- ・ヘビトンボ科（肉食）
- ・カワゲラ科（肉食）
- ・ヒゲナガカワトビケラ属（雑食、デトライタス食性）

(2) 海域（下段は前年同時期調査結果）

水域によってばらつきがあり、採取された生物種も同一ではないが、全体の状況としては、おおむね、前年同時期調査と比較して、放射性セシウム濃度の低下が見られる。また、これまでの調査結果と同様に、海域では河川、湖沼と比較して、低い放射性セシウムの濃度を示している。

単位: Bq/kg-wet

		植物 (藻類等)	ウニ、ヒトデ、ナマコ	甲殻類	ゴカイ	貝 類		イカ・タコ	魚 類
						軟体部	貝殻		
阿武隈川 河口沖 K	H24 6月～7月	—	—	8.4、21 (2 種)	—	—	—	—	11～42 (5 種)
	H25 7月	—	—	0.5	—	—	—	—	1.4～13 (6 種)
相馬市沖 L (松川浦)	H24 6月～7月	13～102 (3 種)	—	12～87 (4 種)	—	4.1、5.7 (2 種)	9、56 (同左)	—	11 ～ 166 (5 種)
	H25 7月	0.7～21 (3 種)	—	2.6～20 (5 種)	10	2.2、4.0 (2 種)	3.0、15 (2 種)	—	3.8～6.4 (3 種)
いわき市沖 M (久之浜)	H24 6月～7月	22、33 (2 種)	21、97 (2 種)	—	—	13	24	—	7.6～290 (8 種)
	H25 7月	ND	5.0、31 (2 種)	—	—	1.7	13	—	4.3～106 (8 種)

※測定に供する試料は、魚類を含め、個体丸ごととしている。

3. 今後の予定

継続的に水生生物の放射性物質測定を実施(年3～4回程度を予定)。

水生生物放射性物質調査地点図



水生生物放射性物質調査結果一覧(河川1/5)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川 A	藻類・植物	付着藻類等	0.044	—	730	230	500	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.029	103	202	62	140	幼虫
	水生昆虫 (トンボ目)	ヤマサナエ	0.12	244	39	13	26	幼虫
		ダビトサナエ属						
		アオサナエ						
		オナガサナエ						
		コオニヤンマ						
		オニヤンマ						
		コヤマトンボ						
		シオカラトンボ						
		アカネ属						
	甲殻類	カワリヌマエビ属	0.15	998	76	24	52	成体
	貝類	カワニナ	0.056	39	28	8.5	19	成体
	魚類	トビシヨウ	0.076	63	32	11	21	1歳以上
		アブラハヤ	0.46	101	37	13	24	1歳以上
		ウグイ	0.13	11	42	14	28	成体
		アメリカナマス	0.28	4	16	5.3	11	未成魚
		アメリカナマス	4.1	2	108	33	75	成魚
		ナマス	1.1	1	274	84	190	当歳魚
		アユ(天然遡上)	1.1	33	53	18	35	成魚
		アユ(天然遡上)	1.1	33	53	18	35	成魚
	両生類	カエル類(オタマシヤクシ)	0.15	156	330	110	220	幼生
		トウキョウタマカエル	0.11	19	49	16	33	成体
		アカハライモリ	0.035	4	67	22	45	成体
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.73	—	830	270	560	—
阿武隈川 B	藻類・植物	付着藻類等	0.059	—	450	140	310	—
		アオミドロ属	0.029	—	N. D.	N. D. (1.5)	N. D. (1.2)	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.21	621	132	44	88	最終齢幼虫
		ヒゲナガカワトビケラ	0.095	295	198	68	130	若齢幼虫
	(ヘビトンボ目)	ヘビトンボ	0.068	95	15	4.4	11	幼虫
		タイリククロスジヘビトンボ						
	水生昆虫 (トンボ目)	ミヤマサナエ	0.037	77	23	7.8	15	幼虫
		ダビトサナエ属						
		オナガサナエ						
		コオニヤンマ						
		オニヤンマ						
		コヤマトンボ						
		シオカラトンボ						
		シオカラトンボ						
	甲殻類	アメリカザリガニ	0.37	21	62	20	42	成体
	貝類	カワニナ	0.058	142	120	39	81	成体
	魚類	トビシヨウ	0.07	14	46	15	31	1歳以上
		ウグイ	0.22	25	43	14	29	1歳以上
		サクラマス	0.94	3	18	5.5	12	成魚
		ヤマメ	0.16	12	16	5.3	11	当歳魚
		ヤマメ	0.072	2	14	4.4	9.9	1歳以上
		アユ(天然遡上)	0.14	7	38	12	26	当歳魚
		アユ(天然遡上)	0.14	7	38	12	26	当歳魚
		アユ(天然遡上)	0.14	7	38	12	26	当歳魚
	両生類	カエル類(オタマシヤクシ)	0.011	7	550	180	370	幼生
		ツチカエル	0.035	12	49	16	33	成体
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.26	—	165	55	110	—

水生生物放射性物質調査結果一覧(河川2/5)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
宇多川C	藻類・植物	付着藻類等	0.077	—	520	170	350	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.051	217	283	67	150	幼虫
		チャハネヒゲナガカワトビケラ						
	(ヘビトンボ目)	ヘビトンボ	0.024	99	59	18	40	幼虫
		タイリククロスジヘビトンボ						
	水生昆虫 (トンボ目)	ヤマサナエ	0.0592	231	21	7.2	14	幼虫
		タビトサナエ						
		タビトサナエ属						
		アオサナエ						
		オナガサナエ						
		コオニヤンマ						
		オジロサナエ						
		オニヤンマ						
		コヤマトンボ						
	甲殻類	ヌマエビ科	0.049	233	43	14	29	成体
		アメリカザリガニ	0.11	8	29	9.0	20	成体
		モクズガニ	0.22	7	55	16	39	成体
	魚類	オオヨシノボリ	0.098	24	141	42	99	1歳以上
		カワムツ	0.13	12	45	15	30	1歳以上
		ウグイ	0.078	3	86	30	56	1歳以上
	両生類	ニホンアマガエル	0.021	42	16	4.5	11	成体
		ニホンアカガエル	0.031	20	12	3.3	8.4	成体
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.91	—	205	65	140	—

水生生物放射性物質調査結果一覧(河川3/5)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
真野川 D	藻類・植物	付着藻類等	0.095	—	1,610	510	1,100	—
		アオミドロ属	0.39	—	14	4.4	9.1	—
		ミズゴケ属	0.42	—	350	110	240	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.11	432	222	72	150	幼虫
		チャハネヒゲナガカワトビケラ						
	(ヘビトンボ目)	ヘビトンボ	0.087	150	150	15	29	幼虫
		タイリククロスジヘビトンボ						
	水生昆虫 (トンボ目)	コシボソヤンマ	0.11	104	59	20	39	幼虫
		ミルシヤンマ						
		ダビトサナエ						
		ダビトサナエ属						
		アオサナエ						
		オナカサナエ						
		コオニヤンマ						
		コヤマトンボ						
		アカネ属						
	甲殻類	ヌマエビ科	0.079	414	180	60	120	成体
		アメリカザリガニ	0.64	17	350	110	240	成体
	貝類	カワナ	0.087	51	99	32	67	成体
	魚類	シマヨシノボリ	0.13	55	254	84	170	1歳以上
		オイカワ	0.053	3	30	9.6	20	成魚
		ウグイ	0.026	1	37	13	24	成魚
		コイ	1.1	1	30	9.3	21	成魚
		ヤマメ	0.013	1	99	35	64	当歳魚
		アユ (放流前)	1.5	42	6	1.4	4.5	当歳魚
		アユ (天然遡上)	1.1	106	77	26	51	当歳魚
	両生類	ウシカエル(オタマシヤクシ)	0.072	5	420	140	280	幼生
		カエル類(オタマシヤクシ)	0.0087	25	1,100	370	730	幼生
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.26	—	670	220	450	—

水生生物放射性物質調査結果一覧(河川4/5)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
新田川E	藻類・植物	付着藻類等	0.037	—	4,000	1,300	2,700	—
		アオミドロ属	0.15	—	9.3	3.5	5.8	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.045	232	1,500	500	1,000	幼虫
		チャハネヒゲナガカワトビケラ						
	水生昆虫 (トンボ目)	ヤマサナエ	0.023	69	270	90	180	幼虫
		タビトビサナエ属						
		ホンサナエ						
		オナカサナエ						
		コオニヤンマ						
		ヒメサナエ						
		オニヤンマ						
		コヤマトンボ						
		アカネ属						
	甲殻類	ヌマエビ科	0.012	48	740	240	500	成体
		モクズガニ	1.9	36	400	130	270	成体
	魚類	シマヨシノボリ	0.026	10	460	150	310	1歳以上
		オイカワ	0.043	5	303	93	210	1歳以上
		カマツカ	0.027	6	270	90	180	1歳
		ウグイ	0.088	7	266	86	180	1歳以上
		ニゴイ	0.007	15	198	68	130	当歳魚
		ナマス	0.012	3	420	120	300	当歳魚
		アユ(天然遡上)	0.096	3	266	86	180	当歳魚
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.48	—	870	280	590	—

水生生物放射性物質調査結果一覧(河川5/5)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
太田川 F	藻類・植物	付着藻類等	0.090	—	8,000	2,500	5,500	—
		アオミドロ属	0.030	—	159	49	110	—
		ミズゴケ属	0.074	—	390	130	260	—
		イトモ	0.13	—	70	21	49	—
	(トビケラ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.04	232	840	280	560	幼虫
		チャハネヒゲナガカワトビケラ						
	(ヘビトンボ目)	ヘビトンボ	0.030	54	150	100	210.0	幼虫
		タイリククロスジヘビトンボ						
	水生昆虫 (トンボ目)	コシボソヤンマ	0.046	199	550	180	370	幼虫
		ミヤマサナエ						
		ヤマサナエ						
		ダビトサナエ						
		ダビトサナエ属						
		アオサナエ						
		オナカサナエ						
		コオニヤンマ						
		オシロサナエ						
		オニヤンマ						
		コヤマトンボ						
		アカネ属						
	甲殻類	ヌマエビ科	0.035	119	1,390	460	930	成体
		アメリカザリガニ	0.050	2	970	310	660	成体
	魚類	オオヨシボリ	0.10	28	2,950	950	2,000	成魚
		シマトシヨウ	0.064	37	1,360	440	920	当歳魚
		オイカワ	0.045	7	1,070	360	710	1歳以上
		ウグイ	0.091	18	1,290	410	880	1歳以上
		ギンブナ	0.26	4	1,750	550	1,200	1歳以上
		ヤマメ	0.026	2	920	290	630	当歳魚
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.48	—	4,300	1,400	2,900	—

※採取した水生生物は、原則、複数個体を分析試料とし、その全量を分析試料とした。ただし、胃内容物の除去が可能な試料については、除いたうえで、その全量を分析している。

※付着藻類等は河床のバイオフィルムをブラシ等で掻き落として採取、浮遊藻類等は環境水を10μmのネットで濾過して採取していることから、試料には藻類以外の懸濁物も含まれる。

※放射性物質濃度の数値には、計数誤差等が含まれているが、本速報においては記載していない。

水生生物放射性物質調査結果一覧(湖沼1/2)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
はやま湖 (真野ダム) G	藻類・植物	付着藻類等	0.089	—	3,400	1,100	2,300	—
		浮遊藻類等	0.051	—	17	4.9	12	—
		アオミドロ属	0.47	—	620	200	420	—
		イトモ	0.46	—	10	3.1	6.7	—
	水生昆虫 (トビケラ目) (ヘビトンボ目)	ヒゲナガカワトビケラ	0.057	257	340	110	230	幼虫
		チャハネヒゲナガカワトビケラ						
		ヘビトンボ	0.033	83	89	31	58	幼虫
		タイリククロスジヘビトンボ						
	魚類	カワヨシノボリ	0.048	42	287	97	190	1歳以上
		ウグイ	0.041	4	255	85	170	成魚
		キンブナ	2.6	2	710	230	480	成魚
		ヤマメ	0.055	8	225	75	150	当歳魚
		ヤマメ	0.067	2	310	100	210	1歳以上
		コクチバス	1.9	3	2,650	850	1,800	成魚
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	0.44	—	560	180	380	—
秋元湖 H	藻類・植物	浮遊藻類等	0.049	—	1.3	N.D. (0.96)	1.3	—
		コカナダモ	0.34	—	7.3	2.4	4.9	—
	昆虫類	ゲンジボタル	0.0012	23	N.D.	N.D. (22)	N.D. (21)	成虫
	甲殻類	ウチダザリガニ	2.2	57	77	24	53	成体
	貝類	カニナ	140	157	60	19	41	成体
	魚類	アブラハヤ	0.13	29	16	5.2	11	1歳以上
		オイカワ	1.0	35	56	17	39	成魚
		ウグイ	3.6	35	102	31	71	成魚
		フナ属	2.6	12	136	42	94	成魚
		ニゴイ	6.1	12	116	36	80	成魚
		コイ	1.8	1	51	16	35	成魚
		ヤマメ (中津川採取個体)	0.048	1	40	13	27	成魚
		ヤマメ (秋元湖採取個体)	0.16	1	92	31	61	成魚
		イワナ	0.45	2	113	38	75	成魚
		コクチバス	5.0	11	264	84	180	成魚
		ワカサギ	0.49	111	25	8.2	17	成魚
	両生類 (カエル類)	モリアオカエル	0.047	6	55	18	37	成体
		シュレーゲルアオカエル						
		アズマヒキカエル						
		ツチカエル						
		ヤマアオカエル						
		アカハライモリ	0.093	18	24	7.5	16	成体
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	2.0	—	250	80	170	—

水生生物放射性物質調査結果一覧(湖沼2/2)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
猪苗代湖 (北岸) I	魚類	ウグイ	0.38	2	165	55	110	成魚
		フナ属	3.0	9	55	18	37	成魚
		サクラマス	0.23	2	85	25	60	成魚
		イワナ	0.18	1	157	47	110	成魚
		コクチバス	0.59	2	108	34	74	成魚
		ナマス ⁶	1.4	1	141	43	98	成魚
	粗粒子状有機物	CPOM (水底落葉等)	1.1	—	162	52	110	—
猪苗代湖 (南岸) J	藻類・植物	浮遊藻類等	0.050	—	1.7	N. D. (0.99)	1.7	—
		コカナガモ	0.014	—	N. D.	N. D. (3.5)	N. D. (3.5)	—
		コウホネ	2.673	—	2.9	1.3	1.6	—
	甲殻類	スジエビ ⁶	0.151	165	29	9.5	19	成体
	貝類	オタニシ	0.130	7	7.3	2.5	4.8	成体
	魚類	トビシヨウ	0.046	10	N. D.	N. D. (0.96)	N. D. (0.95)	1歳以上
		カマツカ	0.707	48	44	16	28	成魚
		ウグイ (小型個体)	1.162	39	124	37	87	未成魚
		ウグイ (大型個体)	1.175	8	109	32	77	成魚
		フナ属	1.227	16	76	23	53	成魚
		ニコイ (小型個体)	0.846	5	100	31	69	未成魚
		ニコイ (大型個体)	0.921	1	81	26	55	成魚
		コクチバス	1.349	2	158	48	110	成魚
		ワカサギ ⁶	0.057	32	81	25	56	成魚
	両生類	カエル類 (オタマシ ⁶ ヤクシ)	0.086	162	120	39	81	幼生
		ツチカ ⁶ エル	0.094	32	2.8	1.1	1.7	成体

※採取した水生生物は、原則、複数個体を分析試料とし、その全量を分析試料とした。ただし、胃内容物の除去が可能な試料については、除いたうえで、その全量を分析している。

※付着藻類等は河床のバイオフィルムをブラシ等で掻き落として採取、浮遊藻類等は環境水を10μmのネットで濾過して採取していることから、試料には藻類以外の懸濁物も含まれる。

※放射性物質濃度の数値には、計数誤差等が含まれているが、本速報においては記載していない。

水生生物放射性物質調査結果一覧(海域1/1)

地点	水生生物等		採取重量 (kg-wet)	個体数	放射性セシウム (Bq/kg-wet)			備考
					計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口沖K	甲殻類	ヒラツメガニ	0.96	5	0.5	N.D. (0.43)	0.5	成体
	魚類	スズキ	5.5	3	13	4.4	9.0	成魚
		アイナメ	3.7	17	1.7	0.49	1.2	成魚
		ヒラメ	4.1	7	11	3.4	7.3	成魚
		マカレイ	2.6	8	2.3	0.88	1.4	成魚
		イサナレイ	3.9	8	1.4	0.45	0.97	成魚
		ホウボウ	3.8	12	4.9	1.6	3.3	成魚
相馬市沖（松川浦）L	藻類・海藻	浮遊藻類等	0.049	—	21	6.4	15	—
		アナアサ	0.22	—	2.6	0.72	1.9	—
	植物（海草）	アマモ	0.54	—	0.7	0.28	0.37	—
	甲殻類	アミ科	0.19	多数	2.6	1.1	1.5	成体
		テッポウエビ属	0.069	37	6.0	2.3	3.7	成体
		モクスガニ	0.45	3	20	6.2	14	成体
		イサガニ	0.37	10	7.9	2.4	5.5	成体
		イサガニ属	0.11	60	5.0	1.6	3.4	成体
	ゴカイ類	多毛綱	0.021	221	10	3.6	6.8	成体
	貝類	マガキ（貝殻）	0.94	148	15	4.6	10	成体
		マガキ（軟体部）	3.1		2.2	0.79	1.4	
		アサリ（貝殻）	1.6	多数	3.0	0.85	2.1	成体
		アサリ（軟体部）	0.94		4.0	1.1	2.9	
	魚類	ヒメハゼ	0.047	38	4.3	1.4	2.9	未成魚
		コシロ	0.22	1	6.4	1.9	4.5	成魚
		カレイ科	0.05	11	3.8	1.3	2.5	当歳魚
いわき市沖（久之浜）M	海藻	アラメ	2.3	—	N.D.	N.D. (0.63)	N.D. (0.57)	—
	ウニ類	ツガールウニ	1.4	38	31	9.8	21	成体
		キタムラサキウニ	2.3	24	5.0	1.7	3.3	成体
	貝類	アワビ（貝殻）	0.55	10	13	4.2	8.7	成体
		アワビ（軟体部）	1.4		1.7	0.73	0.95	
	魚類	チダイ	0.78	3	10	3.2	7.1	成魚
		マトウタダイ	2.9	2	4.3	1.5	2.8	成魚
		アイナメ	0.59	2	5.9	2.0	3.9	成魚
		ヒラメ	5.0	4	5.3	1.8	3.5	成魚
		マコカレイ	2.7	5	40	13	27	成魚
		カナガシラ	1.4	17	5.7	1.6	4.1	成魚
		コモンカスベ	4.0	5	106	34	72	成魚
		ホシザメ	2.6	2	37	12	25	成魚

※採取した水生生物は、原則、複数個体を分析試料とし、その全量を分析試料とした。ただし、胃内容物の除去が可能な試料については、除いたうえで、その全量を分析している。

※付着藻類等は河床のバイオフィルムをブラシ等で掻き落として採取、浮遊藻類等は環境水を10μmのネットで濾過して採取していることから、試料には藻類以外の懸濁物も含まれる。

※放射性物質濃度の数値には、計数誤差等が含まれているが、本速報においては記載していない。